



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.596

17. 1. 9

# 新年初レッスン・第11回コンサートの 成功に向けて元気いっぱい！

1月6日

## 昴は今年も頑張ります！



男声合唱団「昴」第10回記念コンサート（2016年1月30日いずみホールにて）



男声合唱団「昴」第11回コンサート（2017年12月3日豊中市立文化芸術センター大ホール）  
(イメージ図)

□2017年1月6日(金)18:00より新年初の定例レッスンが始まりました。

佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、

**千秋団長より年初の挨拶**がありました。

「新年明けましておめでとうございます。昨年は昴のみなさんよく頑張ったと思います。全国に昴の声を届かせました。今年は11回コンサートに向けて特別団員を募ってその数も増やしたい。昴は独特の響きを持っており、「昴の響きはいいなあ！」と感じてもらえるように、更にその昴の響きを届けていきましょう。そのためには元気に次のステージに立てるよう、健康に気をつけて頑張りましょう。しっかり声を出せば病に勝てる信じて！世の中いろんなことがあります。だからこそ昴の存在意義がある。本並先生・伊藤先生の指揮のもと集中していい歌を創っていきましょう！！」



□6日のレッスンでは、本並先生より、「第11回コンサート」のプログラムに基づいて、全体のイメージをつくるための詳細な説明がありました。プログラム第2部の曲目を楽譜のあるものを一通り全部歌い、13曲の通し練習となりました。指揮：本並先生、伊藤副指揮者(さとうきび畑)、ピアノ：森二三さん。参加者は全32名でした。

当日歌った曲。

○あの青い空のように、上を向いて歩こう、見上げてごらん夜の星を、

○ヴォルガのうた、○ルスカエ・ポーレ、○仕事の歌、○フィンランディア、

さとうきび畑、労働者の合唱、沖縄を返せ、わしらの朝は海からはじまる、

SixPence、昴 (13曲)

(○；当日楽譜およびCD1枚(第11回コンサートのための資料)を配布、

上記のほかに ○忘れっぽい人に。

プログラム記載の曲の中、楽譜の無い人およびCD(第11回コンサートのための資料)をもらってない人は吉田さんに申し出てください。

### 「花の歌」一口レッスンメモ (2016年12月18日本並レッスンより)

課題：「まず12/8拍子、6/8拍子の長さの取り方を正確に！」

○28小節～「ちいさーなくさーがめをーふーいたーー」：

「ちいさあなくさあああがめをおおおふういいたあああ6/8 あああああ1拍休み」  
「それから8分休符そつとはなつけたーー」：「それかああらあ8分休符そつとはなあああ  
つけたあああ6/8 あああ3拍休み」  
拍子の長さに注意して正しくのばして歌うこと！(8分音符が1拍)

○53小節～「ぼくらーはいつ一かそこーにーいたーー」：

「いつうううかそこおおおにいいたあああ6/8 あああああ8分休符」

「いつか」の「い」を合わせること。BR・BS 55小節「6/8 あああああ8分休符」音が上がるところ正しく音程を確保して！53～55小節でハーモニーが変わる！自分がハーモニー変えるぞと心して頑張って音を出してほしい！53小節の「ぼくらーは」：BR・BSの音程低い確保して！

○59小節～「はるさーえくーれば」61小節～「あめさえふれーば」：

タイミングを合わせること。”合わない“と逃げないで、合わす声を出して！

「はるさああえくううればあめをおおおふうういたあ」

「あめえさあえふれええばあはなあああつうけえたあああ6/8 あああ」

○66小節～「あめさえふれーばはな一つーけたー」：各パート音程正しく！テンポ・リズム正しく！合わせて！「あめえさあえふれええばあはなあああつうけえたあああ」「ば」のタイミングあわす。

○69小節～「いちばーんさむーいふゆーのよるーー」：転調する。

最初の音を確保！特にBR/BSの「いちばーん」しっかりと！

## 「末廣亜矢子特別レッスン」一ロメモ 「花の歌」「さとうきび畠」(2016年12月18日)

### 「花の歌」

○4小節～19小節(ソロ)

まず3小節ごとに「ちいさいくさ」「そつ」「たぶんそいつはとおーい」と高くなっているところに重きを置いて。

「ちいさなくさ」の「くさ」の「う」の母音をはっきりと、母音が大切。しっかりとお腹で支えて。

「さああ」も同じ。

「それからそーと」：「そおつーと」の「おつー」母音も

「はなあー」：口を開放して声出す。音程は高いから口開けて。

「たぶんそいつはとおーい」：「たぶん」の「ん」はnに聞こえるから舌をしっかりとつけて「ん」を出す。「とおおーいあさ」：「とおおーい」は、しっかりと声出して！お腹で支えて。

「あさ」の前でプレスなしで切って。「とおおーい」は、エネルギー出して、気力をもっと出して、声出して！

○17小節～「それがぼくらのうたーーだったー」：

日本語のニュアンスを声にして！

「それが」「ぼくらの」「うただった」のそれぞれに歌う人の心情がほしい。心情を出してほしい。言葉が声に乗って…！「それ」は意識は前の方向にある。「ぼくらの」は自分のところにある。「うただった」は後ろ(過去)にある。意識はそれぞれ違ったところ(3か所)にあり。本当にいい声はこの意識、心情を出した声、

声の中に心情がある。是非この内容を、心情を声に乗せてほしい。「この詩で何を感じるか？」が大切なところ。

○10 行目～15 行目～「たぶんそいつはとおいあさー」：

「たぶん」「そいつは」意識はどう動いているか？「たぶん」という言葉は、はっきり断定できないときの言葉。それを声に表現する。「たぶん・・」と。「そいつ」は？？「そいつ」です。

「花の歌」はピアノの間奏が非常に大事。ピアノの音に乗って声も出る。昴はいい声しているからこの声を本物にしていってほしい。心情を声にどう表現するか？心情を出すこともっともっと！！ピアノをよく聴いて感じてほしい。細かい発音のことはいろいろ注文あるが、気持ち・心情を出して歌ってほしい。頭で考えてやっているときはうまくない。心情が動いたとき歌はよくなるのです。

## 「さとうきび畑」

○「ざわわ」：この曲は最初から最後まで「ざわわ」が続く。どれもきれいに歌ってほしい。ていねいに、きれいに！

「ざ」「わ」の母音「あ」は明るくない、暗くもない。「ざわわ」元気でもない。風でさとうきび畑がざわついている。戦地。大地の風景を声に出して・・。途中で(9 小節から)ピアノが突然長調に変わる。昔の戦場の場所から現在に変わる瞬間を感じてほしい。

○10 小節「ざわわ」：sempre P(ずっと弱く、もっと弱く) 4拍目からテナー（I）が「ざ」と出る。「ざあ」のZは4拍目の前、音符のないところでZ(子音)を言う。4拍目は「あ(a)」となる。「ざ」は常にそのように歌うこと。

○21・22 小節「いくさがやってきたー」

「いくさ」「やってきた」のことば、メロディ完全につきとめて表現して欲しい。しっかりと出して！「やって」の「て」：「T」をはっきりと。「きたあー」：微妙なニュアンス。はっきりした「きたあー」でもない。

○23 小節～「なつのひざしのなかでーー」

- ・テナー（I）はメロディしっかりと感じて歌ってほしい。
- ・(II・III)「なつ」「ひざ」にテヌートとアクセントがついている。「なつの」のあとに「、」プレスしてしっかりと「ひざし」へ入る。
- ・(I・II・III)「ひざし」の「し」：「しいー」と母音をしっかりと出して。「なかで」の「なあー」「かあー」の「あ」をはっきり出し、「で」は口を開けたまま1拍の「でえ。」。「で」は引っ込めて！お腹の方へ。「でえー」と強く言わない。
- ・(I)「ひざしの」(I・II)「なかーで」にスラーがついている。意識して！

○26 小節目「ざわ」の「ざ」があいまいな音になる(リピートの前で)。「ざあ」と「わあ」と2つの母音「あ」をしっかりと出して！

○13 小節～「ひろいさとうきびばたけは」

「きび」：高くなるが、強くしない！「さとう」を出して「きび」に続ける。

○16 小節～「かぜがとおりぬけるだけーー」：

T1 (I) 「かぜが」の「が」、「ぬける」の「け」は強く歌わない！高い音は強く歌いがちだが、ここは弱く、音程が採れたら日本語を歌って！

○19 小節～「あのひ てつのあめにうたれ ちちはしんでいったー」：

この4・の2番の表現は非常に大事！

T1 (1)

「あのひ」：「ひ」は滅茶苦茶、音としてほしいからしっかり出して！「てつのあめにうたれ」：ここまでではっきりとした言葉でしっかり出してほしい！「うたれー」も明快に！

「父は死んでいったー」：一転して表現を変える。

「し」「Si」：「ちちは」の「は」(4分音符)伸ばさないで、「は」を言ったらすぐに「しんで」の「し」へ行く。「Si」の時間を長く。「いったー」の「いいー」で一瞬止まり、「たあー」と続ける。重い表現に！

(II・III)

「あのひてつの」：「あのひ」の「ひ」、「てつ」の「つ」をしっかり出して！「てつの」の「の」をきびしく表現する！この言葉がはっきりわかるように！

「あめにうたれー」：強烈にしてほしい！「あめ」「うたれ」の「う」の音がわかるように！

「ちちはしんでいた」：「死」の「し」は早く出る。

「いったー」：「い」を言ってから続ける。「たー」：「T」の母音「あー」はあまり強調して言わなくてよし。「いったあー」：「い」(ソ)より「っ」(ミ)をはっきりと！

○16 小節「この」(to coda)～27 小節(coda)「かなしみはきーえない」

「このかなしみ」の「か」はっきりと！

「きー」の「k」の子音と「i」の母音をしっかり言って、デクレッセンドで。

「えなー」でテヌートで、「い」は1拍で、延ばさない。

○29 小節・33 小節「ざわわ ざわわ ざわわー」：

最後になる「ざわわ」しっかり歌ってほしい！3つの「ざわわ」の表現をちがえて！

「ざわ」にスラー入れて

30 小節から転調する！各パートしっかり音程を確保すること！

「ひろいさとうきびばたけは」：スラー、クレッセンド・ディクレッセンド 表現豊かに！

○37 小節「かぜがとおりぬけーーるだけーーー」

各パート音程を確保！

「ぬけー」「るだけーー」：どこでプレスするか？「る」プレス「だけーー」  
もっとアクセントをつけるとよくなる！お腹で母音をとること！